

平成 25 年 6 月 21 日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅ブランド化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅ブランド化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称: 「イーハトーブ 森の恵み3ツ星ハウス」

グループの名称: わが街大工の住まいるネットワーク

平成24年度  
採択グループ番号: 01-0103-0024

(平成25年度新規グループは、採択グループ番号は必要ありません)

(グループ代表者)

代表者名: 伊藤 清一 代表者印

代表者所属先: 伊藤建築

代表者構成員番号: VI-14

代表者住所: 岩手県一関市千厩町小梨字畑ノ沢117-1

電話番号: 0191523762

(グループ事務局)

事務局事業者名: 永沢木材株式会社

事務局構成員番号: II-1 III-1

事務局担当者名: 永沢 建一 印

事務局郵便番号: 029-0803

事務局住所: 岩手県一関市千厩町千厩字摩王12-1

事務局電話番号: 0191525111

事務局FAX: 0191525114

事務局担当者E-mail: nagasawa-mokuzai.com@ab.auone-net.jp

※ 平成24年度採択グループは、平成24年度に提出された適用申請書から変更点がある場合、その変更点分かるように(文字の色を変更する、下線を引く等)記載して下さい。

■他の様式にリンクしますので、全て正確に記載してください。

1. 地域型住宅の名称(必須)	「イーハトーブ 森の恵み3ツ星ハウス」			
2. グループの名称(必須)	わが街大工の住まいるネットワーク			
3. 地域型住宅供給対象地域(必須)	岩手県南部、宮城県北部			
4. 結成年月(必須)	平成24年2月20日			
5. グループ代表者名(必須)	伊藤 清一			
6. グループ代表者の所属先(必須)	伊藤建築			
7. グループ代表者の構成員番号(必須)	VI-14			
8. グループ代表者所在地(必須)	岩手県一関市千厩町小梨字畑ノ沢117-1			
9. グループ代表者電話番号(必須)	0191523762			
10. グループ事務局事業者名(必須)	永沢木材株式会社			
11. グループ事務局の構成員番号(必須)	II-1 III-1			
12. グループ事務局担当者名(必須)	永沢 建一			
13. グループ事務局郵便番号(必須)	029-0803			
14. グループ事務局所在地(必須)	岩手県一関市千厩町千厩字摩王12-1			
15. グループ事務局電話番号(必須)	0191525111			
16. グループ事務局FAX番号(必須)	0191525114			
17. グループ事務局担当者E-mail(必須)	nagasawa-mokuzai.com@ab.auone-net.jp			
(構成員数) ※様式2-2の各シートからリンクする為、入力はありません。				
I. 原木供給	2	/		
II. 製材・集成材製造・合板製造	1			
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	1			
IV. プレカット	1			
V. 設計	3			
VI. 施工	17			
VII. 木材を扱わない流通				
VIII. I～VII以外の業種				
A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称		地域材の産地	認証制度等の名称
	岩手県産材		岩手県	岩手県産材認証制度
	岩手県産材		岩手県	合法木材証明制度
	宮城県産材		宮城県	合法木材証明制度
B. 平成25年度における地域型住宅の供給予定戸数等 (必須)	地域型住宅の供給予定戸数		(左記の根拠、様式2-2に記載した実績との関係等)	
	40 戸	4 戸	岩手、宮城の復興住宅の需要などを加味し昨年の施工実績34棟の2割増の40棟を目標とし、ブランド化事業の期間内に適合する現場をその2割と考え8棟が該当します。その半数のお施主様に御採用頂く事を想定して4棟を長期優良住宅と目標づけます。 *当然ブランド化事業以外でも長期優良住宅の推進に努力します。	
	地域型住宅による地域材使用予定			
	800 m <sup>3</sup>	80 m <sup>3</sup>	(左記の根拠、様式2-2に記載した実績との関係等)	
		本グループ会員は日ごろより、地域材利用に理解の深い会員が多く、構造材はもちろん、羽柄材にも積極的に地域材を活用しています。復興住宅の坪数が比較的小さい事を考慮し1物件あたり20m <sup>3</sup> (構造材、羽柄材含み)で計算しました。		
C. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	一企業一棟で採択決定時点からの先着順とする。(枠に余裕がある場合は一企業一棟以上も可)			
D. 平成24年度の執行状況 (H24年度採択グループのみ必須)	採択戸数 注4	交付申請件数	完了実績見込み	
	4 戸	2 戸	竣工済	竣工予定
			0 戸	2 戸

注1)代表者の所属先及び事務局事業者名は略さず正式名で記載してください。例:株式会社○(株)×

注2)郵便番号は、ハイフンありで半角入力 例:123-4567

注3)電話番号・FAXは、ハイフンなしで半角入力 例:0123456789

注4)採択戸数は最終的な配分戸数を記入して下さい。











<グループ構成員記入用リスト> VI. 施工

注1		注2			注3		注4				注5	
県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	平成24年(1月～12月)実績				補助金の活用実績	被災地に該当
VI. 施工 (元請の年間新築住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5～10事業者程度以上)					構成員数: 17		元請の新築住宅供給戸数		うち木造の長期優良住宅		○	○
							H24年実績	直近3年平均	H24年実績	直近3年平均		
3	VI-1	東北ホーム株式会社		029-3311	一関市藤沢町黄海字山谷41	0191633583	10戸	10戸	0戸	3戸	○	○
3	VI-2	有限会社タカラ住建		029-1111	一関市千厩町奥玉字萱刈場63-4	0191562202	5戸	3戸	1戸	0戸	○	○
3	VI-3	有限会社清水建築		029-0804	一関市千厩町磐清水字峯山34	0191532766	3戸	3戸	1戸	0戸	○	○
3	VI-4	有限会社大和建設		029-0302	一関市東山町長坂字町3	0191472301	3戸	3戸	0戸	0戸		○
3	VI-5	有限会社小山工務店		029-0802	一関市千厩町小梨字不動15	0191523824	3戸	2戸	0戸	0戸		○
3	VI-6	有限会社オйкаワハウジング		029-0603	一関市大東町沖田字霞沢39-1	0191743292	2戸	3戸	0戸	0戸		○
3	VI-7	辻山建築		029-3104	一関市花泉町日形字日形山1-151	0191825171	2戸	2戸	0戸	0戸		○
3	VI-8	菅原木工		029-3401	一関市藤沢町増沢字畑沢62-2	0191632399	2戸	1戸	0戸	0戸		○
3	VI-9	小野建業		029-3101	一関市花泉町花泉字林ノ沢22-6	0191824407	1戸	2戸	0戸	0戸		○
3	VI-10	建築の金野		029-0803	一関市千厩町千厩字梅田9-8	0191522253	1戸	1戸	0戸	0戸		○
3	VI-11	鈴佳建築工房		029-0803	一関市千厩町千厩字北ノ沢173-4	0191513018	1戸	1戸	0戸	0戸		○
3	VI-12	有限会社小野寺建設		029-1201	一関市室根町折壁字天神下425-5	0191643484	1戸	1戸	0戸	0戸		○
3	VI-13	藤野工務店		029-0803	一関市千厩町千厩字上駒場42-1	0191532188	0戸	1戸	0戸	0戸		○
3	VI-14	伊藤建築		029-0802	一関市千厩町小梨字畑ノ沢117-1	0191523762	0戸	1戸	0戸	0戸		○
3	VI-15	千葉建築		029-3311	一関市藤沢町黄海字川口沖32-6	0191633228	0戸	1戸	0戸	0戸		○
3	VI-16	有限会社岩淵興務店		029-0711	一関市大東町大原字岩谷堂228-6	0191722713	0戸	1戸	0戸	0戸		○
3	VI-17	有限会社星建設		029-0521	一関市大東町洪民字槻の木4-4	0191754045	0戸	1戸	0戸	0戸		○
	VI-						戸	戸	戸	戸		
	VI-						戸	戸	戸	戸		
	VI-						戸	戸	戸	戸		
	VI-						戸	戸	戸	戸		
	VI-						戸	戸	戸	戸		
	VI-						戸	戸	戸	戸		
	VI-						戸	戸	戸	戸		
	VI-						戸	戸	戸	戸		

- 注1) 県番号は、県番号のワークシートを参照してください。
- 注2) 郵便番号は、半角文字で、ハイフン付きで入力してください。(例:000-0000)
- 注3) 電話番号は、半角文字でハイフンやかっこを入れずに入力してください。(例:00000000000)
- 注4) 過去に地域型住宅ブランド化事業や木のいえ整備促進事業等、長期優良住宅の整備に対する補助を受けたことがある場合は○を付けて下さい。
- 注5) ※「被災地」については、「施工」の事業者の主たる事業所(本店)が、「東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律」に基づく「特定被災区域」に存する場合、○を付けて下さい。  
参照:内閣府HP(<http://www.bousai.go.jp/2011jyosei-tokutei.html>)
- ※) 業種(I、II...)毎に、それぞれ原則として1事業者以上の構成員(ただし、VI. 施工については、年間住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上)による体制としてください。10事業者以上となる場合、構成員番号を連番で追加してください。
- ※) VI. 施工については、所在地は本社の情報、戸数については支社や営業所等を含む会社全体の戸数を記入してください。また、「直近3年平均」とは平成22年から24年の3カ年における1年当たりの平均を記載して下さい。
- ※) 業種(I、II...)毎に、平成24年(1月～12月)実績の大きい事業者から順に記載してください。
- ※) I～VII以外の業種の構成員がある場合は、VIII以降に記載してください。
- ※) 行が不足する場合は、該当業種のワークシートをコピーし追加して下さい。
- ※) <様式4>適用申請書記載事項確認念書の内容を正確に転記して下さい。事業者名については、(株)や(有)等の略号は用いず、正式な法人名を記入して下さい。





1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 「イーハトーブ 森の恵み3ツ星ハウス」	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県南部、宮城県北部
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) わが街大工の住まいるネットワーク	(結成年月) 平成24年2月20日
3. 平成24年度のグループ番号 (必須)	0   1   -   0   1   0   3   -   0   0   2   4   注1	
4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み		
ア. 特徴あるブランド化の目標設定 (必須)		
【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
<p>a. 「わが街大工の住まいるネットワークの取り組み」</p> <p>岩手県一関市は被災地、高田市、気仙沼市に30分～1時間距離に立地し、主に良質な杉材の産地でもあります。本地域の特性を踏まえ下記の取り組みを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期優良住宅または、長期優良住宅の性能に準じた良質な地域型復興住宅の建設</li> <li>・継ぎ手の少ない長尺材を極力用いながら耐震等級2以上の確保</li> <li>・グループで指定する地域材を<b>主要構造部の60%以上使用</b>、また羽柄材にも積極的に指定地域材を使用する</li> <li>・地質に応じた地盤調査の実施</li> <li>・住宅履歴管理の義務化</li> <li>・良質で住み心地の良い住宅を真摯に建築し、お客様の信頼を得る事が結果として「ブランド」だと評価頂けるように取り組む。</li> <li>・素材～製材～流通～施工～住宅まで「見える化」した安心と安全が「見える」家づくり。</li> </ul> <p>「平成24年度の課題と対策」</p> <p>課題①ブランド化事業の申請に事務局、施工者、共に不慣れで生活再建を急ぐ施主様に着工が遅れて御迷惑をかけてしまった。</p> <p>②地域材のエリアが狭く、例年の様に多様な樹種が市場に出てこなかった。</p> <p>対策①<b>昨年の共通ルールを見直し、昨年よりスピーディな申請を心がける。</b> 昨年の経験を活かし、事務局のサポート体制を厚くする。</p> <p>②追加登録になってしまいますが、引き続き、本事業の主旨を理解してもらい、<b>新規の地域材供給側のネットワークを開拓</b>しより消費者のニーズに合った地域材の住宅を建設を目指す。</p> <p>良かった点 長期優良住宅に施工業者がチャレンジするキッカケになった事。</p>		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
上記を踏まえた地域型住宅の特徴等 (性能や地域性等)における共通ルール (任意)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土台、梁、柱巾は4寸以上の材を使用</li> <li>・住宅性能表示制度の耐震等級2以上を確保する。</li> </ul>	住宅の木拾い表と写真の添付 住宅性能評価所の添付
イ. 効率的で持続性のある住宅生産体制の整備 (a 必須)		
【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
<p>a. グループ内で各資材の仕様を決め、グループのスケールメリットを活かしコスト低減をはかる。</p> <p>工程表を作成し現場への配送回数を削減しコスト低減をはかる。</p> <p>「平成24年度の課題と対策」</p> <p>課題①グループ内の基本仕様は作成したが、施主様の希望でランクアップする事がある</p> <p>②現場の広さや移転先の道路状況など(狭く小さなトラックしか入らない)により配送計画が大幅に狂った事。</p> <p>対策①<b>基本仕様を基本採用メーカーと改め、メーカーと価格交渉し、そのメーカー内で自由にお施主様が選べる仕組みを作る。</b></p> <p>②<b>入念な現場下見を行った上で現場の実情にあった配送計画を作成し、その上での効率化を図る。</b></p>		
b. 見積もり項目の標準化とコストの見える化。		
<p>「平成24年度の課題と対策」</p> <p>概ね良好で現状課題無しですが、<b>現在竣工中の現場が完了次第、取り組んだ工務店と課題と反省点を検証する。</b></p>		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
上記の住宅生産の合理化・効率化に資する取組、安定供給の長期維持体制、グループの信頼向上に資する取組における共通ルール (任意)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場の下見を行った上で配送計画の作成による配送の効率化。</li> <li>・基本採用メーカーの選定と価格交渉</li> </ul>	住宅の木拾い表と写真の添付 一般的な価格表とネットワーク向けの価格表の作成

注1) 平成24年度採択グループのみ記載してください。

※) それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 「イーハトーブ 森の恵み3ツ星ハウス」	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県南部、宮城県北部
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) わが街大工の住まいるネットワーク	(結成年月) 平成24年2月20日
3. 平成24年度のグループ番号 (必須)	0 1 - 0 1 0 3 - 0 0 2 4	注1
4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備 (a 必須)		
【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
<p>a. 30年間の維持管理計画の策定と点検の実施、いえカルテ等の住宅履歴管理の利用といった、実務上の維持管理とネットワーク会員を中心にOB施主様中心の感謝祭の実施しネットワーク全体で施主を見守る</p> <p>「24年度の課題と対策」 維持管理計画書は策定済み、住宅履歴は現場の進行に合わせ更新中、イベントは実施済みです。24年度完了報告終了時にもう一度、課題と対策を協議する。</p> <p>b. 住宅完成補償に加入し、建設時の方が1に備える。引き渡し後の廃業や倒産時にはネットワーク内の施工業者に住宅履歴データを譲渡し、ネットワーク内の施工業者が引き続き維持管理を引き継ぐ。</p> <p>「24年度の課題と対策」 実例となる物件該当なし。</p>		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
グループの長期にわたる住宅維持管理体制における共通ルール (任意)	30年の維持管理計画書の共通化	維持管理計画書
住宅履歴情報の保存方法 (任意)	いえカルテ等の住宅履歴システムの利用	システム登録の証明書等を添付
エ. グループの技術力の向上 (a 必須)		
【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
<p>a. わが街大工の住まいるネットワークの会員全てが昨年度は初のブランド化事業の取り組みで、苦労しましたが、長期優良住宅の申請経験工務店が3社に増えました。今年度は昨年度の住宅履歴のデータ等を活用し、未経験工務店向けの勉強会を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施工グループ会員を対象とした、長期優良住宅の勉強会 (申請勉強会1回、施工勉強会1回)</li> <li>・未経験者向けの座談会 (1回)</li> <li>・事務局による長期優良住宅申請のサポート (随時)</li> </ul> <p>「平成24年度の課題と対策」 課題①何をどうすれば長期優良住宅の認定が受けられるのか解らなかった。 対策①長期優良住宅認定までのロードマップの作成と必要書類のわかりやすいリストの作成</p> <p>b.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域材に関する勉強会や省エネや新商品に関する勉強会を実施し会員の作る住宅の品質向上に努める</li> <li>・次世代技術者の育成と技術の伝承</li> </ul> <p>「平成24年度の課題と対策」 課題①平成24年度はU値計算の勉強会、地域型住宅の構造見学会での地域材の普及活動やモデル住宅を使った地域型住宅のセミナーなど、数、内容共に充実した企画が出来た。 ②復興住宅の需要が多くスピードを求めめるお施主様が多く新築の手刻み物件の確保が少なかった。 対策①25年度はもっと川上(製材や森林)に近い勉強会やゼロエネに関する勉強会を企画したいと思います。 ②リフォーム現場を中心に手刻みを勉強する。若手とベテランをバランス良く現場で組み合わせる。</p>		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
グループの技術力の向上における共通ルール (任意)	・長期優良住宅の勉強会の実施	勉強会の資料の添付

注1) 平成24年度採択グループのみ記載してください。

※) それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 「イーハトーブ 森の恵み3ツ星ハウス」	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県南部、宮城県北部
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) わが街大工の住まいるネットワーク	(結成年月) 平成24年2月20日
3. 平成24年度のグループ番号(必須)	0 1 - 0 1 0 3 - 0 0 2	4 注1
4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み		
オ. 地域産業の活性化(a, 必須)		
【平成25年度における対応方針】(平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
<p>a. なるべく施工エリアに近い地産地消の岩手県産材を中心としながら、内装材の無垢化に向け、合法木材も取り入れ、広い選択肢を設ける</p> <p>地元の森林組合と連携を図り、なるべく高樹齢の材や長尺材の利用で住宅の差別化と商品力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・梁、柱、土台は4寸巾以上とし、主要構造材の仕様量の60%以上を指定地域材とする。</li> <li>・羽柄材や内装材にも積極的に使用を心がける。</li> </ul> <p>「平成24年度の課題と対策」</p> <p>課題①土台材に想定していた栗、桧の産材が少なく苦労した。対策①合法木材も認めて今後ネットワーク会員を増やしていく。</p>		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
地域材利用に関する共通ルール(必須)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要構造材(柱、梁、桁、土台)の60%以上の地域材利用</li> <li>・羽柄材にも積極的に利用する(努力目標)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木拾い票の添付と納品証明書、写真の添付</li> </ul>
<p>b. 物件情報を早めに収集し需要に対する供給をスムーズに行う為に適切な原木在庫を確保する。</p> <p>「24年度の課題と対策」</p> <p>課題①基本的に本ネットワークは天然乾燥材で供給しているが、昨年は特に寒く、冬場の乾燥に苦労した。</p> <p>対策①木材乾燥機を設置し乾燥のスピードアップに努める。</p>		
<p>c. 一関市東山町の東山和紙を昨年現場の襖紙として活用した所、見学会でも好評だったので、他の施工会員にも積極的に広める。</p>		
<p>d. 該当なし</p>		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
地域材情報の共有、地場産業等の積極的活用、街並みガイドライン等に関する共通ルール(任意)	該当なし	該当なし
その他(任意)		
【平成25年度における対応方針】(平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
<p>努力目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・風土に調和した外観</li> <li>・地域材無垢材の内装化</li> <li>・地域伝統素材の活用(東山和紙施工例)</li> <li>・岩手県地域型復興住宅のモデルプランの平屋と2階建が採択を受</li> </ul>	 	<p>Ⅱの製材、集成材合板 永沢木材株式会社 Ⅲの流通、永沢木材株式会社</p> <p>は同じ企業ですが、製材部は市場売り専門で、地元工務店への木材販売はⅢの流通の永沢木材株式会社が行います。</p> <p>* 岩手県産材の認証制度の場合は同一の認証番号で製材と流通利用の事と24年度に確認済みとなっております。</p>

注1) 平成24年度採択グループのみ記載してください。

※) それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

※) グループの取組に関する補足説明は、様式3-3の「その他」の欄に記載してください。